

ご使用前に必ずお読みください

Tajima

セフ工具ホルダー

取扱説明書

テープホルダー 折りたたみ SFKHI-TPF

ビットホルダー 3連 SFKHI-BH3

ペンホルダー SFKHR-PH

お買い上げいただき、ありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。本製品の性能をご理解の上で、適切な取扱いと保守をしていただくようお願いいたします。



製品に関するお問い合わせは

✉ <https://jpn.tajimatool.co.jp/inquiry>

TEL 0120-125577

受付時間:

月曜日～金曜日 9:00～17:00
(12:00～13:00/祝日・当社指定休日を除く)

株式会社TJMデザイン

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3

<https://jpn.tajimatool.co.jp>

使用上のご注意

 警告	誤った取扱いをすると「人が死亡または重傷*1を負う可能性があること」を示します。
 注意	誤った取扱いをすると「人が傷害*2を負う可能性、および物的損害*3のみが発生する可能性があること」を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

警告・注意

- ご使用前に破損や変形の有無を確認し、異常がある場合やセフホルダー部がロック状態にならない場合は、事故の原因になりますので使用しないでください。
- 工具ホルダーの用途以外には使用しないでください。
(体重を支える器具ではありません)
- 本製品には通電性があります。感電に注意してください。
- 脱落の危険がありますので、装着時は本製品をセフホルダーに奥まではめて外れない事を確認し、安全ロープ等で落下防止措置をとってください。
- 脱落の原因になりますので、破損したセフホルダーを絶対に使用しないでください。
- 火気のある場所でのご使用時には注意してください。
- 本製品を付け外す際は落下などに十分注意してください。
- 安全確保のため、保護メガネ・作業手袋・ヘルメットを着用してください。
- お手入れの際は、乾いた布をご使用ください。
- 極端な低温、高温、および湿気やほこりの多いところ、または直射日光にあたる場所（窓辺、車内等）でのご使用、保管は避けてください。本体の変形・変色等の原因になります。
- 製品には、仕様・外観など改良のため予告なく一部を変更することがあります。
- 幼児の手の届かない所に保管してください。
- かん合部および連結部に急激な負荷をかけないでください。
- 事故の原因になりますので本製品を分解・改造しないでください。
* 連結部の付け外しは除く
- カスタム対応セフホルダーに直結する際は手回しドライバーを使い、ネジでしっかりと固定してください。
- 取付ける際は電動ドライバーは使用しないでください。

**右の製品の
組み合わせ方**
をご確認ください

テープホルダー 折りたたみ	SFKHI-TPF
ビットホルダー 3連	SFKHI-BH3
ペンホルダー	SFKHR-PH

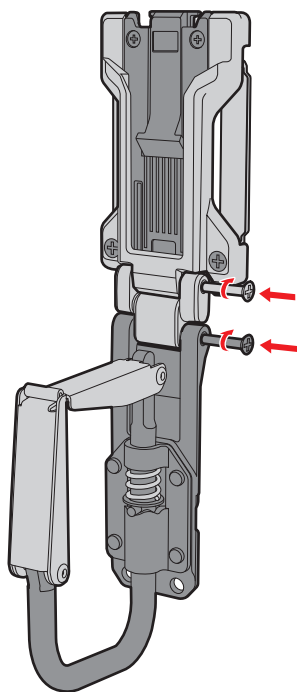
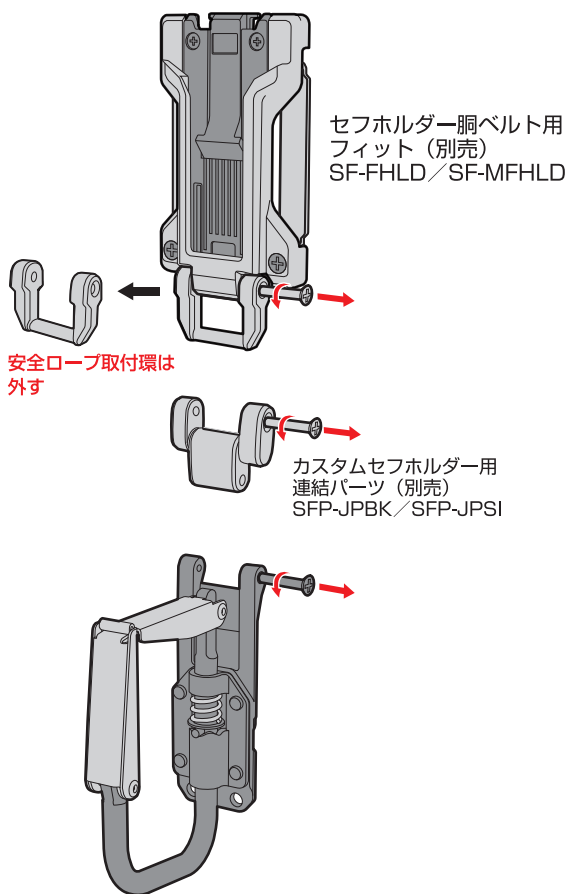
組合わせ方 セフ工具ホルダー テープホルダー 折りたたみ (SFSKHI-TPF)

例：セフホルダー胴ベルト用 フィットとの上下連結の手順

※上段がセフホルダーの場合、別売の**連結パーツ**を必ず**1個以上**取付けてください。
(連結パーツの個数は組合わせや各々の可動域を踏まえて調整してください)

①各製品の連結用ネジを手回しドライバーで外す。

②各製品のネジ穴を合わせ、手回しドライバーでネジが回らなくなるまでしっかり締め込んで固定する。



組合わせ方

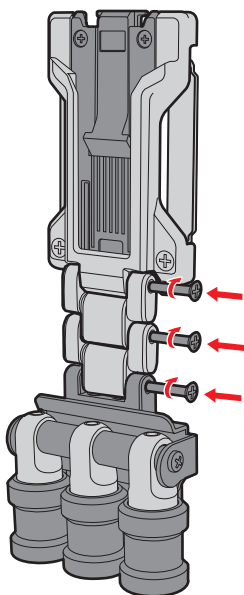
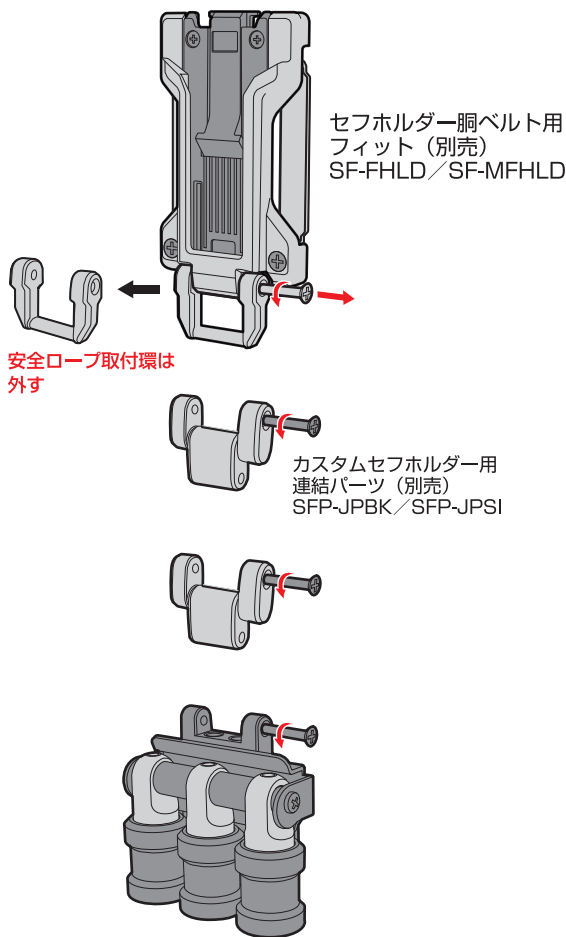
セフ工具ホルダー ビットホルダー 3連 (SFKHI-BH3)

例：セフホルダー胴ベルト用 フィットとの上下連結の手順

※上段がセフホルダーの場合、別売の**連結パーツ**を必ず**2個以上**取付けてください。
(連結パーツの個数は組合わせや各々の可動域を踏まえて調整してください)

①各製品の連結用ネジを手回しドライバーで外す。

②各製品のネジ穴を合わせ、手回しドライバーでネジが回らなくなるまでしっかり締め込んで固定する。



組合わせ方

セフ工具ホルダー ペンホルダー (SFKHR-PH)

例：セフホルダー胴ベルト用 フィットとの上下連結の手順

※上段がセフホルダーの場合、別売の**連結パーツ**を必ず**1個以上**取付けてください。
(連結パーツの個数は組合わせや各々の可動域を踏まえて調整してください)

①各製品の連結用ネジを手回しドライバーで外す。

②各製品のネジ穴を合わせ、手回しドライバーでネジが回らなくなるまでしっかり締め込んで固定する。

